

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2025年 5 月13日
【会社名】	ジェイ・エスコムホールディングス株式会社
【英訳名】	J ESCOM HOLDINGS, INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 大谷 利興
【本店の所在の場所】	東京都港区赤坂六丁目15番11号
【電話番号】	0 3 - 5 1 1 4 - 0 7 6 1
【事務連絡者氏名】	業務管理統括本部 部長 丸山 博之
【最寄りの連絡場所】	東京都港区赤坂六丁目15番11号
【電話番号】	0 3 - 5 1 1 4 - 0 7 6 1
【事務連絡者氏名】	業務管理統括本部 部長 丸山 博之
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号)

1【提出理由】

連結会社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生したため、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 当該事象の発生年月日
2025年5月13日

(2) 当該事象の内容

営業外費用

当社の韓国連結子会社であるMafin inc.において取引先の前渡金や保証金等が回収できなくなったことに伴い、貸倒損失を計上しております。また、同社が持分法適用関連会社であるMatched inc.に対して貸し付けている貸付金について貸倒引当金を繰り入れる判断をしたことに伴い、貸倒引当金繰入額を計上しております。最後に、現在配信中のゲームに共同事業者として参画しております。当該事業の実績及び資金状況等を総合的に勘案し、回収可能性を検討した結果、連結子会社である株式会社スープにおいて匿名組合事業分配損を、同様にJ E インベストメント2号匿名組合において減損損失を計上しております。それらの相殺消去等を行った結果、連結財務諸表上において出資金運用損を計上しております。

特別利益

当社の韓国の連結子会社であったMatched inc.において、第三者割当増資を行ったことに伴う持分比率の減少により、当社グループの連結子会社から持分法適用会社となりました。更に同社が新たに実施した第三社割当増資により当社持分比率が低下し、特別利益として計上しております持分変動利益の額が変動しております。

(3) 当該事象の連結損益に与える影響額

当該事象の発生により、2025年3月期において連結決算で貸倒損失11,750千円、貸倒引当金繰入額32,625千円を営業外費用として計上しており、連結子会社である株式会社スープで匿名組合事業分配損49,829千円をJ E インベストメント2号匿名組合において減損損失100,000千円を計上し、それらの相殺消去等を行った結果、出資金運用損100,000千円を営業外費用として計上しております。また持分変動利益38,585千円を特別利益として計上しております。

以 上